

きれいに・きちんと分別を!

廃棄プラスチック・廃棄発泡トレイ類

環境対策課環境対策係 ☎028(677)6041

町では、容器包装リサイクル法に基づくプラ回収をしています。最近、廃棄プラスチック・廃棄発泡トレイの袋の中にリサイクルできないものが混入しているケースが多くなっています。資源物として処理できるプラスチック・発泡トレイ類を再度確認し、正しい分別にご協力をお願いします。

資源物として出せるもの

このマークのあるものが対象です



包装ビニール

- お菓子、パンなどが入っていた袋
- あめ、煎餅の包み
- ラップ、レジ袋

食品容器・パック

- 弁当、豆腐、プリン、ゼリー、饅頭、惣菜などの包みや容器
- たまごパック

食品トレイ、容器

- 肉魚トレイ
- 刺身トレイ
- カップ麺容器

緩衝材

- 電気製品緩衝材
- 魚箱

※発泡トレイ類は、曲げるとパリッと割れるものです。

注意 異物が含まれるものは出せません!

- 家庭から出ないもの** → 農業用の苗箱、肥料袋、塩化ビニール → **JA等の回収へ**
- 簡単に中身を洗えないもの** → チューブに入っている歯磨き粉、わさびなど → **もえるごみへ**
- 大きいもの** → 回収場所にある回収用袋に入らないもの → **粗大ごみへ**
- 汚れが落ちないもの** → 泥やかびがついているもの → **もえるごみへ**
- 容器包装ではないもの** → CD、CDケース、ストロー、プラスチックスプーン、フォーク → **もえるごみへ**

※詳しくは、環境対策課窓口にて配布している「ごみの分別事典」をご覧ください



町ホームページでもご覧いただけます▶

正しい出し方

- 食べ残しや飲み残しがないように洗う。
- 汚れや異質物(金属やガラス)を取り除く。
- プラスチック・発泡トレイと一緒に出せないものが混入していないか確認する。
例)紙くず、生ごみ、ごみ製品、金属を含むプラスチック類、布類、木製品、アルミ製品など
- 包装紙についているシール(紙)は、剥がせるものは剥がす。
- レジ袋や透明・半透明の袋に入れて、マジックで氏名を記入する。



回収場所

町内約90カ所のステーションで回収しています。
町の施設では、役場・農業者トレーニングセンター・生涯学習センター・生涯学習センター水橋分館で回収していますので、ご利用ください。

くらしナビ ~交通安全~

田園型事故を防ごう!

総務課地域安全対策係 ☎028(677)6029

田園型事故とは…田園地帯などの見通しのよい交差点で発生する出会い頭の事故

田園型事故は、お互いに速度が出ている状態で衝突することが多く、重大な事故につながりやすいものです。その原因として挙げられる「コリジョンコース現象」について知っておき、事故を防ぎましょう。

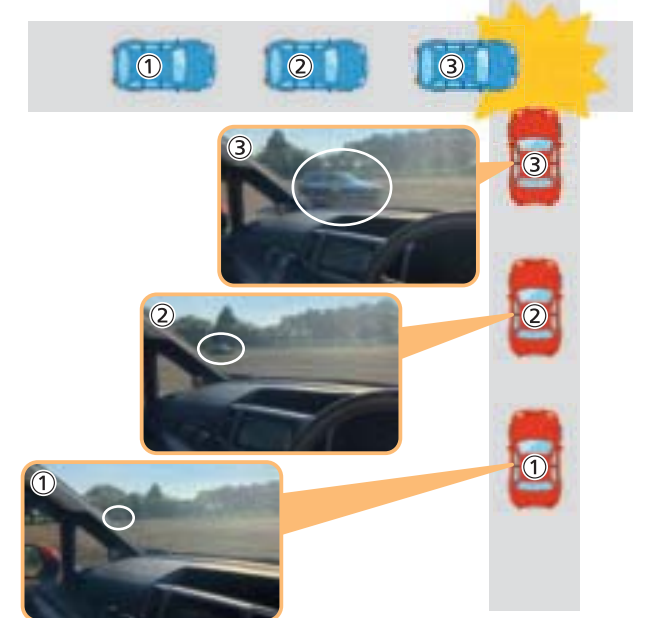
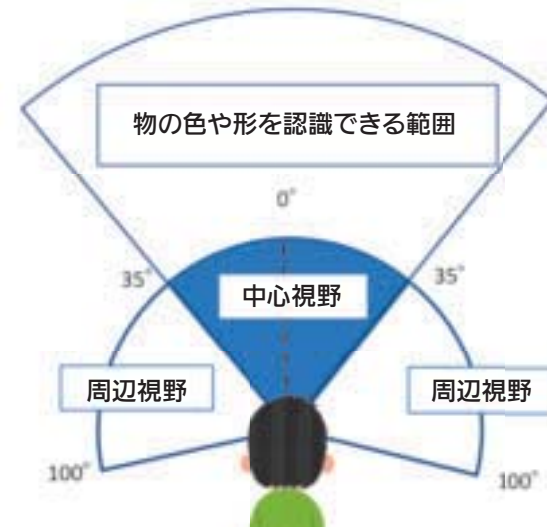
コリジョンコース現象

田園型事故の当事者は「相手の車両を見ることができたにもかかわらず、衝突直前まで気付かなかった」と言います。

衝突直前まで
気付かなかった
(田園型事故の当事者)



—実は、これには人間の視覚の特性が深く関係しています。—



人間の目は、物の形や色まではっきり認識できるのは、中心から35°程度の狭い範囲(中心視野)に限られていて、それ以外の範囲(周辺視野)の中では、「動かない物は認識しにくい」という特性があります。

⇒左右から、自分と同じくらいの速度で相手の車が進入してきた場合、自分からの見え方は変化しません。そのため、相手の車を止まっているように感じてしまい、衝突寸前まで気付けないということになってしまうのです。

スピードを出すほど、視野は狭まっていきます。見通しの良い道でも、スピードの出し過ぎは危険です。

対策ポイント 意識して顔を左右に向け、見落としがちな「周辺視野」の範囲にも注意を向けましょう

コリジョンコース現象以外にも、相手の車がピラー(車の天板を支える支柱)に隠れてしまったり、自分の方が優先道路だと思いついてしまったりといったことが事故の原因になることがあります。ゆずり合いの精神を持ち、田園型事故を防ぎましょう。見通しの良い道路では、油断して漫然とした運転をしてしまいがちです。一時停止の見落としなどに注意しましょう。